

日 誌 (昭和51年2月)

【国 内】

- | | |
|--|---|
| <p>2日 ○東京証券取引所はじめ全国8証券取引所、株式の信用取引の委託保証金率を40%以上(うち現金10%以上)から50%以上(同10%以上)に引上げることを発表(同日から実施)</p> <p>3日 ○政府、「昭和51年度地方財政計画」を閣議了承</p> | <p>(2月号「要録」参照)</p> <p>6日 ○大蔵省、「中期財政展望」を発表(「要録」参照)</p> <p>24日 ○自治省、「中期地方財政展望」を発表(「要録」参照)</p> |
|--|---|

【海 外】

- | | |
|---|---|
| <p>1日 ○米国連邦準備制度、ガードナー新副議長就任</p> <p>○イタリア、公定歩合の引上げを決定(6.0→7.0%、2日実施)</p> <p>2日 ○第3回77か国グループ閣僚会議開催</p> <p>3日 ○フランス、操短対象労働者の所得補償に関する労使協定を更改延長</p> <p>4日 ○イタリア、緊急リラ対策を決定</p> <p>○ポルトガル、金担保借款につき西ドイツ、スイスの両国と合意</p> <p>5日 ○シンガポール、為替管理規制を緩和</p> <p>6日 ○EC、イタリアの農産物輸出入につき国境税調整措置を実施</p> <p>○英蘭銀行の最低貸出歩合低下(10.0→9.5%)</p> <p>7日 ○中国、首相代行に華国鋒副首相の就任が判明</p> <p>9日 ○スイス、財政面からの景気刺激措置を発表</p> <p>○スペイン、ペセタの対米ドル相場介入点を切下げ</p> <p>11日 ○英国政府、選択的物価抑制措置を発表(16日実施)</p> <p>○イタリア、第5次モロ内閣組閣</p> | <p>○ベルギー、手形再割引レートの一部引上げ等を決定</p> <p>○インド、ジュート製品の輸出税を撤廃</p> <p>12日 ○英国政府、新雇用促進対策を発表</p> <p>○日本、ルーマニア、租税条約を締結</p> <p>14日 ○マレーシア、預金準備率を引下げ(16日から実施)</p> <p>16日 ○EC蔵相理事会、対アイルランド・イタリア借款供与につき合意</p> <p>17日 ○南アフリカ、為替管理を強化</p> <p>23日 ○ASEAN首脳会議開催</p> <p>○豪州、ニット外衣の輸入規制を強化</p> <p>24日 ○イタリア、公定歩合の引上げを決定(7.0→8.0%、25日実施)</p> <p>○イタリア、外国為替市場における公的介入再開(3月1日以降)ならびにリラ対策を決定</p> <p>○ソ連共産党第25回大会開催</p> <p>25日 ○香港、76年度予算案を立法議会に提出</p> <p>26日 ○イタリア、外貨持出制限措置を決定</p> <p>27日 ○英蘭銀行の最低貸出歩合低下(9.5→9.25%)</p> |
|---|---|